

コラム 口之津開港 450年

—— 口之津港の壮大な歴史をたどる ——

子どもたちにもわかるよう「ふりがな」・「簡単な言葉」で紹介しています。CHAPTER. 7



開校当時の海員学校

日本船の外航への進出も目覚ましく、多くの船員が必要とされた。昭和25年(1950年)が開始されると、海運業界は好景気になりました。さらに海外航路が開かれて日本船の外航への進出も目覚ましく、多くの船員が必要とされた。昭和25年(1950年)が開始されると、海運業界は好景気になりました。さらに海外航路が開かれて日本船の外航への進出も目覚ましく、多くの船員が必要とされた。

昭和46年 島原半島出身の船員数ベスト5

町名	船員数	比率			
		対人口	船員世帯	船員所得	町民税
口之津	1,399人	15.1%	46.7%	72.4%	71.6%
加津佐	1,158人	11.0%	37.0%	70.2%	58.4%
南有馬	765人	8.9%	33.3%	54.8%	34.1%
南串山	198人	3.2%	10.9%	27.8%	36.7%
北有馬	178人	2.9%	12.1%	20.0%	1.6%

(1972年発行の人文地理 隈部 守氏著「石炭産業発展期における口之津港の盛衰」より)

「日本一を誇る」船員の町

明治30年代、口之津町は、三井物産会社が三池の石炭を口之津港から輸出することで繁栄しました。また、優秀な船員を数多く輩出する「船員の町」として発展してきました。

昭和25年(1950年)が開始されると、海運業界は好景気になりました。さらに海外航路が開かれて日本船の外航への進出も目覚ましく、多くの船員が必要とされた。昭和25年(1950年)が開始されると、海運業界は好景気になりました。さらに海外航路が開かれて日本船の外航への進出も目覚ましく、多くの船員が必要とされた。

その船は、55人の乗組員中、高級船員が15人、残り40人の普通船員のうち、9割が口之津地区の出身者でしたので、口之津弁をマスターしなければ仕事にならなかったのです。きつと船の中では、「何ばしよつとな、早よせんか。まらつと、きばらんか！」などと、口之津弁が飛び交っていたかもしれませんね。

口之津歴史民俗資料館 館長 原田 建夫

歴史・文化

開港450年記念冊子
ドラマチックな歴史を持つ町「口之津」
限定無料配布



1562年、当時の領主有馬義貞により、長崎港よりも8年前に口之津港は開港しました。口之津港は1567年に南蛮船が来航し、巡察師ヴァリニャーノの布教活動や南蛮貿易港の拠点。明治時代には石炭海外直輸出港としての役割、戦後には外洋航路船員の町として3度の繁栄をもたらした。これらの口之津港の歴史をまとめた小冊子を無料配布します。

9月10日～23日 10:00～17:00
口之津公民館
●配布数/1,000部限定

懐かしの口之津写真展

口之津には先人が築いてくれた輝かしい歴史や美しい自然と人々の温もりなど、さまざまな表情があります。この素晴らしいふるさとを再発見するために、戦前から昭和60年頃までの写真展を開催します。

9月10日～9月23日 10:00～17:00
口之津公民館
無料

ポルトガル人冒険家
フェルナン・メンデス・ピントの
ポスター展



南蛮時代のポルトガル人冒険家フェルナン・メンデス・ピントのポスター展。メンデス・ピントは、大航海時代に世界各地を巡り、日本にも来日。著書「東洋遍歴記」は虚実を交えた冒険譚としてポルトガルでベストセラー。

9月10日～23日 10:00～17:00
口之津公民館
無料

口之津歴史民俗資料館 無料開放

大正・昭和時代に口之津は全国一船乗りが多い町と言われ、船員たちが世界各地で購入した民芸品展示。口之津港の歴史を伝える貴重な資料など館内に展示しています。

9月22日(土)・23日(日) 9:00～17:00
口之津公民館
無料

港に関わる先人・企業展



石炭海外直輸出港として繁栄した口之津港に大きく関わった、先人・企業史料の展示。南有馬町出身で南島原市名誉市民でもある古野電気創業者古野清孝・清賢兄弟。1938年に口之津町に古野電気商会創業。口之津から世界へ羽ばたいた古野電気の初代魚群探知機を展示。

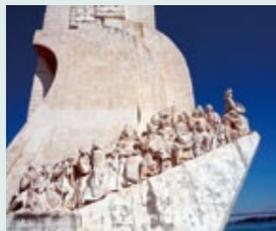
9月10日～23日 10:00～17:00
口之津公民館
無料

ヴァリニャーノ像公開

有馬のセミナリヨの設置や天正遣欧少年使節の派遣で有名な巡察師ヴァリニャーノ像が生誕の地(イタリア・アブルツォ州キエーティ)から口之津開港450年記念として寄贈していただきました。開港記念式典で除幕し、公開します。

9月22日(土) 10:30
口之津港緑地公園

ポルトガル写真展



ポルトガルとの友好が深い長崎出身の写真家高原至氏の写真展。

●十八銀行 有家支店 8月21日～9月3日 9:00～15:00
●十八銀行 口之津支店 9月4日～9月28日 9:00～15:00
●南島原市役所 口之津支所 8月21日～9月28日 8:30～17:00
無料

450年前の口之津港再現模型展示

450年前の口之津港は今よりも広かったのか？また、当時の海岸線はどの辺りにあるのか？南蛮船が碇を降ろし、背が高く青い目の外国人がマントを翻す。胡椒(交易)と靈魂(布教)、さまざまな思惑が交錯した450年前の口之津港の立体模型を製作し、展示します。

9月10日～9月23日 10:00～17:00
口之津公民館
無料

アウトドア

日本一のカッター模範演技



全国優勝を果たした国立口之津海上技術学校によるカッターの模範航海を行います。

9月23日(日) 10:00～10:30
口之津港(口之津港緑地公園前)

口之津釣りリンピック



口之津開港450年を記念して開催します。「生きエビ」を餌に一本釣りの腕を競います。

9月8日(土) 6:00～11:00
口之津港から沖合の早崎瀬戸周辺
6,000円
●優勝賞品有り(個人賞・1隻単位の団体賞)
南島原ひまわり観光協会 ☎0957(76)1800

イベントに関するお問い合わせ

口之津開港450年記念事業実行委員会 (企画振興課内)
☎050(3381)5030 FAX0957(82)3086
E-mail: chiikishinkou-han@city.minamishimabara.lg.jp

観光

定期ガイドツアー「口之津開港物語」



口之津港に來航した南蛮船から始まり、島原の乱終焉の地の原城で1つの物語となる。1つの物語を4コースに分けて、定期ガイドツアーを実施します。

8月25日～9月23日の毎週(土・日) 10:00～12:00・14:00～16:00

- コース
①南蛮船來航の地を訪ねる
②フロイスの道と穴観音を訪ねる
③日野江の城下町と有馬川の殉教地を巡る
④島原の乱の最後の舞台「原城跡」を巡る

1コース 45人
1人 500円(小学生以下無料)
※ツアー実施前日の17時までに申し込んでください。
南島原ひまわり観光協会 ☎0957(76)1800

明日の世界遺産

THE TOMORROW'S WORLD HERITAGE CHAPTER.25

来年度世界遺産登録推薦を目指します

南島原市から世界遺産を！
長崎の教会群とキリスト教関連遺産

今年度、日本から国連教育科学文化機関(ユネスコ)の世界遺産委員会へ推薦する資産について審議する、文化審議会世界文化遺産特別委員会が、7月12日に開催されました。

今回、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」と群馬県の「富岡製糸場と絹産業遺産群」の2件が審議されましたが、長崎の教会群とキリスト教関連遺産は、残念ながら推薦が見送られることとなりました。(※1)

推薦されることとなった富岡製糸場と絹産業遺産群は、平成25年に国際記念物遺跡会議(イコモス)の現地調査を経て、翌26年の第38回ユネスコ世界遺産委員会で審査、決定されます。

長崎県や熊本県の関係6市2町では、構成資産の環境整備や推薦書の内容をさらに検討し、平成25年度の国内推薦に向け、全力で取り組んでいきます。

(※1)「富岡製糸場と絹産業遺産群」は、富岡製糸場を中心に開発された技術が世界に広まり、絹織物の大衆化に大きく貢献したことが評価されました。